



さとう ひろふみ
佐藤 浩史 氏
幸町耳鼻咽喉科 院長

【プロフィール】
長岡市出身。東邦大学医学部卒業後、新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科に入局。新潟市民病院、佐渡総合病院、長岡赤十字病院など県内の耳鼻咽喉科・頭頸部外科にて勤務。2020年6月に幸町耳鼻咽喉科院長に就任、現職。

【資格・所属学会など】
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、身体障害者福祉法第15条指定医、難病指定医。その他、日本耳鼻咽喉科学会、日本口腔・咽頭科学会、日本嚥下医学会、日本東洋医学会などに所属。

この時期に気を付けたい！

耳鼻咽喉科の病気

季節の変わり目に感じる耳や鼻、のどの不調。これらの症状を放っておくとさらに悪化するケースも。この時期特有の不調の原因を知り、日常生活でできる予防法や治療法を知っておくことが大切です。耳鼻咽喉科専門医の佐藤浩史氏に分かりやすく解説いただきます。

急性の扁桃炎・咽頭炎・喉頭炎 要注意！風邪とは違う「細菌感染」ポイントとは風邪症状と見分けられること

気を付けて頂きたいのが、風邪によるのどの痛みと違って、急性の扁桃炎や咽頭炎、喉頭炎といった、ウイルスではなく細菌感染によるものだった場合です。これは風邪薬では治りませんので、しっかりと抗生物質を服用していただく必要があります。微熱とは言えない程度を超えるような発熱や、水を飲むのも大変などの痛みがあるようでしたら細菌感染を疑います。口が開けられないほどの痛みときには、扁桃の周囲まで膿が広がる扁桃周囲膿瘍の可能性があり、手術による膿の排出が必要な場合があります。さらに、呼吸の苦しさや、声がこもったように聞こえる「含み声」があるなど、急性喉頭蓋炎という、窒息死の危険もある怖い病気の可能性もあります。息苦しさなどの呼吸症状も、風邪ではなかなか出ない症状なので、これらの症状がある場合はすぐに耳鼻咽喉科を受診してください。



これらの症状がある場合は、細菌感染を疑ってすぐ受診を！

急性中耳炎・突発性難聴 どちらも放置せず すぐ治療を開始することが大切

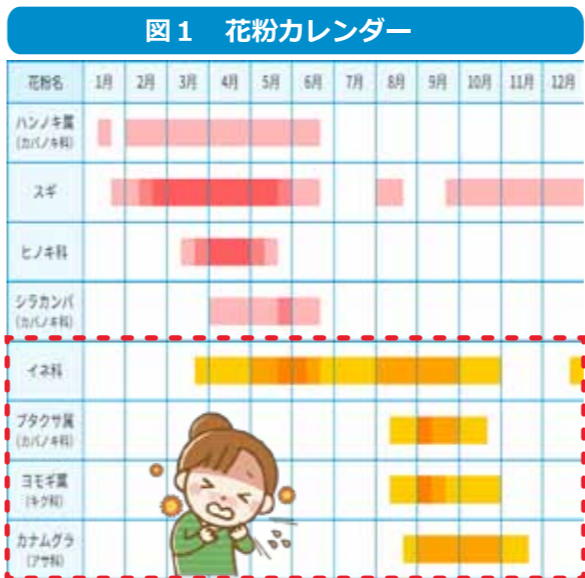
お子さんでは急性中耳炎が増えます。これは、子供の耳管が大人より短く太いうえ、咽頭までの傾斜が少なく、細菌やウイルスが侵入しやすいためです。風邪をひいた時など続けて発症するケースが多く、症状としては高熱や耳の痛み、耳だれが出ることもあります。抗菌薬の飲み薬で、きちんと治療すれば1〜2週間で完治しますので、放置しないことが大切です。

大人では、内耳性の疾患として突発性難聴が増える傾向があります。突発性難聴とは、明らかな原因もないのに突然耳の聞こえが悪くなる病気で、耳鳴りや、耳がふさがったような耳閉感、めまいなどを伴う場合もあります。原因はよくわかっていませんが、寒くなることによる血流障害や、ウイルス感染による炎症なども関係しているのではと考えられています。また、高血圧や糖尿病とも関連が深く高齢者に多いのも特徴です。突発性難聴により血流が長時間滞ると、音の振動をキャッチして電気信号に変え脳に送る役割をしている「有毛細胞」が壊れてしまいます。これは一度壊れると再生せず治療が困難になるため、発症した日から数日以内に治療を開始することが大切です。

気温と湿度の低下は耳・鼻・のどのにも悪影響！ 秋特有のアレルギーもチェックして

秋の花粉症 スギ花粉と同じアレルギー症状が秋にも！

花粉症というと春先のスギ花粉がよく知られますが、花粉は年中飛散しています。中でも秋に飛散するのがブタクサ、ヨモギ、そして初夏から飛散しているイネ科のカモガヤなどです(図1)。鼻水や鼻づまり、くしゃみ、目のかゆみ(結膜炎)、のどの違和感など、スギ花粉と同様の症状が出ます。花粉のサイズが小さいブタクサの場合、気管支まで花粉が侵入し粘膜を刺激することで、せきが出やすくなるのが特徴です。



急性上気道炎 気温低下と空気の乾燥は 風邪ウイルスに感染しやすい環境

冬に向かって気温低下と空気が乾燥してくると、急性上気道炎(いわゆる風邪)など、鼻からのどにかけての炎症が増加します。ウイルスは湿度が低いと浮遊しやすくなるうえ、人は体温が下がると免疫力も低下しますし、口や鼻、のどの粘膜は乾燥すると感染しやすくなります。現在、コロナ禍によって手指消毒や手洗い、マスクを徹底されているかと思いますが、上気道炎の予防もこれらが重要になります。湿度を保つために加湿器の使用もお勧めします。

患者さんの病態・体質を総合的に見極め 西洋薬と漢方薬を併用

どの疾患においても、治療法や使用する薬剤の選択は患者さんやその病態によっても様々です。通常処方される西洋薬でも改善しない場合、漢方薬で効果が出ることも少なくありません。漢方薬と聞くと、直ぐに効かないとか、長く飲み続けなければいけない、高価、といったイメージがあるかもしれませんが、そんなことはありません。即効性のある漢方薬は数分で聞いてくるものもありますし、数日のみで服用終了するものもあります。薬効や金額も、保険診療においては西洋薬とほとんど変わりません。さらに「なんとも調子が悪い」といった未病にも有効なものもあります。

漢方治療では舌診や脈診なども行い、じっくり時間をかけて診察をし、薬を決定しますが、何より大切なのは、しっかりと患者さんに寄り添い、訴えを聞き、納得



脈診をしながら、患者さんの話に耳を傾ける。しっかりコミュニケーションをとり、理解と納得を得て治療に進む。



幸町耳鼻咽喉科
長岡市幸町1-4-3
0258-37-4111



先代から継承するクリニックは、「患者さんの話をよく聞き」診療にあたるという想いから、ウサギがシンボルに。患者さんとの対話を大切に、心と体の耳鼻咽喉科を目指す。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	／
14:30 ~ 18:00	●	●	／	●	●	／	／

※休診:水曜午後、土曜午後、日曜、祝日